

古文書を読もう

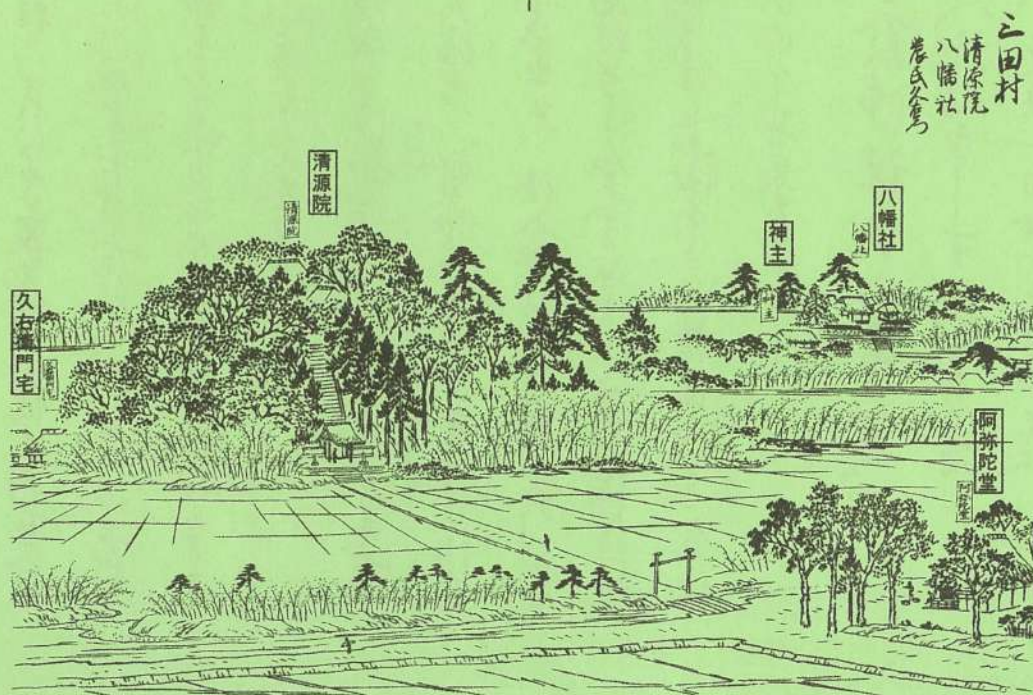
第28号

令和6年3月

古文書で知る郷土の歴史

古文書で知る郷土の歴史（十）

『相中留恩記略』③



絵図…国立公文書館所蔵版の絵図を加工

『相中留恩記略』三回目は三田村です。絵図右上に村名とともに清源院・八幡社・農民久右衛門と記されています。清源院は絵図左側の高い丘の上に、八幡社は右手奥に、久右衛門宅は絵図左端に描かれています。三田用水に沿った道と清源院参道の交わる場所、冠木門^{かぶきもん}のあたりは、現在の「清源院前」交差点でしょうか。

『相中留恩記略』は第二十六号で紹介しましたが、徳川家康ゆかりの相模国内の事跡・逸話を絵図とともに収録したものです。清源院や村の鎮守の八幡社では、「鎌倉殿の十三人」の一人で当村の領主であったと伝えられている「安達藤九郎盛長」の伝承に触れています。また、徳川家康ゆかりのものとしては、家康関東移封の翌天正十九年（一五九一）に、家康より賜った朱印状を紹介しています。清源院は三田郷内で四石の寺領を、八幡社は同じく三田郷で一石五斗の社領の寄進を受けたことが記されています。

農民久右衛門宅には家康次女督姫と北条氏直の祝言に関する北条家の朱印状が伝わっていましたので、それを読み解いてみましょう。

厚木市古文書解説会

あつぎ郷土博物館に収蔵されている古文書の解説に取り組んでいます、興味のある方は第2、第3、第4木曜日に活動していますのでお問い合わせください、

あつぎ郷土博物館 TEL 046-225-2515

古文書を読もう

第9巻4号通巻28号

発行日

令和6年3月31日

発行

厚木市教育委員会

編集

あつぎ郷土博物館

厚木市古文書解読会

住所

〒243-0206

電話

厚木市下川入一三六六一四
〇四六一二二五―二五一五